

原野谷学園新たな学校づくり

検討委員会だより

発行：掛川市教育委員会

第5回検討委員会を開催しました

令和6年3月12日に原野谷中学校にて、第5回目の「原野谷学園新たな学校づくり検討委員会」（以下検討委員会）を開催しました。第5回は主に建設候補地の決定方法について検討を行いました。

【建設候補地】

これまで3つの候補地に関するメリット・デメリット等の情報（第3号掲載）と、追加で調査を行った情報（第4号掲載）を踏まえて、検討委員会にて協議を行ってきました。第5回では、さらに追加で行った保護者説明会でのご意見を共有し、どのような方法で候補地を決定するかについての検討を行いました。

以下の項目ごとにそれぞれの候補地の評価を行い、検討委員会としての候補地を決定します。

敷地条件

…校舎やグラウンド、複合施設、駐車場などを配置できる十分な広さがあるか。学校運営・子どもたちの学校生活にあたり制約が少なく、新しい教育を実現しやすい環境が整備出来る広さ・形状か。

交通の安全性・利便性

…通学路の安全性が確保できるか。スクールバスや緊急車両が進入できる・送迎等で支障がでない道路幅が確保できるか。

防災面

…浸水や液状化について、ハザードマップ上で影響が少ない土地か。

経済性

…学校の施設を建設する以外にかかる費用がどれくらいあるか。

迅速性

…開校までに要する時間はどれくらいか。（農地転用手続き、造成等の期間を含めて評価）【参考】原野谷中学校：築62年

まちづくり

…都市計画や閉校後の跡地活用を踏まえて、まちづくりに望ましいか。

地域連携

…地域住民が訪れやすい場所か。こども園との交流がしやすいか。

【複合する公共施設】

既存公共施設・機能の複合化については、下記4つの施設・機能を検討しています。
説明会やオンラインフォーム等で頂いたご意見を参考に、複合する施設・機能を決定していきます。

地域 生涯学習 センター

現在は原田地区（原田小敷地内）と原谷地区（原谷小隣接敷地）にそれぞれある生涯学習センターですが、これを新しい学校に複合化するかどうかを検討します。
<注意>あくまで建物を複合化するかどうかという検討です。
原田・原谷の組織が1つになるわけではありません。

広域 避難所

「広域避難所：避難した後、生活を行う場所」
「避難場所：一時的に逃げ込む場所」
という定義の違いがあります。
閉校後の学校跡地の利用も含めて、検討していきます。

地域 スポーツ

現在は学校のグラウンドと体育館を、地域の方やスポーツ少年団に貸し出ししています。※市への団体登録（10名以上目安）が必要、個人利用不可
新しい学校でも地域開放を行うかについて検討を行います。

学童保育

原田・原谷それぞれの地区で運営している学童保育所を、新しい学校に複合化するかを検討します。
対象学年（原田1～6年、原谷1～3年）や運営母体が異なる点も考慮しつつ検討を行います。

複合化したら...



4つの施設・機能に共通する

○メリット：建物が新しくなる、設備・機能が充実する

×デメリット：今の場所よりも距離が遠くなる可能性がある

※どのような学校の施設・機能を地域で利用できるようになるかは、建設候補地が決定後に検討を行います。

次回は！【建設候補地】の決定と、
【複合する公共施設】の検討等を予定しています。

第6回検討委員会

日時：令和6年4月10日 午後7時～
場所：原野谷中学校 2階 図書室

<検討委員会のホームページ>

を立ち上げました！QRコードからアクセスできます➡



<専用のご意見フォーム>

にご意見をお寄せください➡



ご意見・ご質問等ございましたら、掛川市教育委員会 教育政策課 学校再編室までお問い合わせください！

〒436-8650 掛川市長谷一丁目1-1 TEL：0537-21-1155 FAX：0537-21-1222

